平成23年度シラバス　第6学年「理科」　広島市立広瀬小学校

目標	・生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関係付けながら調べ，見いだした問題を多面的に追及する活動を通して，生命を尊重する態度を育てるとともに，生物の体の働き及び生物と環境とのかかわりについての見方や考え方を養う。 ・水溶液，物の燃焼，電磁石の変化や働きをその要因と関係付けながら調べ，見いだした問題を多面的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して，物の性質や働きについての見方や考え方を養う。 ・土地のつくりと変化の様子を自然災害などと関係付けながら調べ，見いだした問題を多面的に追究する活動を通して，土地のつくりと変化のきまりについての見方や考え方を養う。

学期	学習内容・到達目標	学期	学習内容・到達目標
前期	**空気と水と緑の地球** ・ヒトと自然の関わりについて話し合い，理科学習に興味・関心を持つことができる。	後期	**6　水溶液** ・水溶液には，金属を変化させるものがあることをとらえることができる。 ・酸性，アルカリ性および中性のものがあること，気体が溶けているものがあることをとらえることができる。
	1　ものの燃え方と空気 ・植物体が燃えるときには，酸素が使われて二酸化炭素ができることをとらえることができる。		**7　月と太陽** ・観察し、月と太陽の位置や、月の見え方や表面の様子について調べたり考えたりすることができる。
	2　人の体のつくりとはたらき ・体内に酸素が取り入れられ，体外に二酸化炭素などが出されていることをとらえることができる。 ・食べ物は，口，胃，腸などを通る間に消化，吸収され，排出されることをとらえることができる。 ・血液は，心臓の働きで体内を巡り，養分，酸素および二酸化炭素を運んでいることをとらえることができる。		**8　電気の利用** ・電気をつくったり、蓄えたり、変換したりできることを知り，電気の効果的な利用について考えることができる。
	3　植物の体のつくりとはたらき ・植物の体内には水の通り道があり，根から吸い上げられた水は，主に葉から蒸散していることを理解する。 ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解する。		**9　生き物と環境** ・生物は，周囲の環境と関わって生きていることをとらえることができる。 ・生きている植物体や枯れた植物体は動物によって食べられることをとらえることができる。
	4　つりあいとてこ ・てこの規則性について考えを持つことができる。 ・身のまわりのさまざまな道具に，てこの規則性が利用されていることがわかる。		
	5　土地のつくりと変化 ・土地は，礫，砂，粘土，火山灰および岩石からでき，層を作って広がっているものがあること をとらえることができる。 ・地層は，流れる水の働きや火山の噴火によってでき，化石が含まれているものがあることをとらえることができる。 ・土地は，火山活動によって変化することをとらえることができる。		

理科の評価

・理科では4つの観点で評価します。

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
自然事象を意欲的に追究し，生命を尊重するとともに，見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。	自然事象の変化とその要因との関係に問題を見いだし，多面的に追究し，相互関係や規則性をとらえ，問題を解決する。	問題解決に適した方法を工夫し，装置を組み立てたり使ったりして観察，実験やものづくりを行い，その過程や結果を的確に表現する。	生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや，物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること，土地のつくりと変化にはきまりがある事などを理解している。

・次のような方法で見ていきます。

発言内容　ノートのまとめ方　プリント　テスト 学習態度　実験の様子　　活動の様子

おうちの方へ

観察や実験などの直接経験を重視しながら，自然に対する科学的な見方や考え方を育てていきます。
家庭でも日頃から自然に親しむ活動をされたり，機械や生物についての話をされたりすると，より関心が高まっていくと思います。